

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	平成27年7月22日 午後6時45分から午後9時00分まで
3 会場	西部公民館 1階 大ホール
4 出席者	湊委員、市村委員、小市委員、小宮山委員、渋谷委員、清水博夫委員、清水文彦委員、関口委員、高橋委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、馬場委員、瀨村委員、堀内委員、増田委員、宮下委員、山崎委員、湯田委員
5 市側出席者	水野地域振興政策幹、瀬間生涯学習課長、立岩生涯学習係長、中村西部公民館次長、小須田高齢者介護担当係長、北沢市民参加・協働推進係長、樋口市民参加・協働推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年8月17日

協 議 事 項 等

会議次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議事項

(1)高齢者介護に対する現在の取組状況と問題点について(担当課:高齢者介護課)

- ・資料に沿い、高齢者介護に対する現在の取組状況と問題点について担当課から説明
- ・以下、協議

(委員) 介護保険制度がスタートした平成12年当初は、在宅介護をする側の負担を軽くすることを目的に開始したかと思うが、15年経過した現在は国側が在宅介護を推奨しているような感じがする。

(担当課) 制度が開始した当初は、高齢化社会を迎える中で今までの制度では対応が難しいことから、介護サービスを利用することで介護者の負担軽減を目的に始まった。そのため多くの事業者が参入できるようになり、利用者がケアマネージャーと相談しながら自分達で選択しサービスを受けられるようになってきている。それが現在では住まいを中心という表現になっているが、住まいで介護しないといけないという意味ではなく、住まいで介護するにしても家族の負担にならないようなシステムを構築していくようにということである。在宅に戻ってくればそれなりの負担も出てくると思うが、家族だけではなく医療・相談センター等を含め、住んでいた地域で過ごしていけるようにしようという考え方がでている。家族の負担にならないよう進めていくが、もしかしたら負担になる事もでてくるかもしれない。今までのやり方でいって介護保険制度全体が暗礁に乗り上げるわけにもいかない中で、どこまでを負担してもらってどこまでを行政なり地域なり周りの方が補助できるかというバランスを見ながら進めていかないといけない。

(委員) 介護保険法の改定の件で、値上げをする度に全く利用していない側と、利用する側との公平化を図ると言っている。特養は1割負担だが、食費・部屋代が公平化によって、利用する側の人は全て負担しないとイケない。利用する側に対しては公平化という名目で値上げをするが、それは違うと思う。10年後までに団塊世代を含め右肩上がり超高齢化社会がどんどん進むが、事業者側に対してもあまり考えていない感じがする。行政の皆さんももう少し分かりやすく説明してほしい。

(担当課) 公平化という線を引くのは難しいところがある。どちらの立場に立つかによっても変わってくるし、自宅で介護を受けている人は食費等自分で払っているのに、施設利用者は無料でいいのかという意見もある。高齢化社会の試算と現状があっているのかという疑問も残るが、何かしらの対応は必要で、より良いものにするためにいろんな考えがでてきている。立場が変わると意見も変わってくるが、利用者や高齢者の方が暮らしやすい形をとっていけるように模索しながら進めていきたい。

(委員) 働いている方が親の面倒を見ているうちはいいが、年金暮らしの方が親の面倒を見る事になるとかなりの負担になると思うし、そのような家庭が増えてきている。孫が同居していれば話は別だが、核家族化によりそうでない家庭が多い。在宅方向でという記事を見た時に国は何を考えているのかと思った。それについて行政はどう考えているか。

(担当課) 在宅に戻すのであれば、どのような対策が必要なのかということになってくると思う。施設に空きがあったり利用する場所があったりすればそこを活用してもらおうのも手だと思う。在宅介護になる場合にも懸念されている問題が起きないように対策が必要であると考えている。

(2)わがまち魅力アップ応援事業(西部ペタンク同好会)の報告について

- ・西部ペタンク同好会から事業実績報告及び今年度事業計画の説明
- ・以下、質疑応答

(委員) 団体の会員数が16名だが、これから発展させる為の努力、体育協会へ加盟する為の競技力の向上等は考えているのか。最後の年ということで、方向性も見出して活動して欲しい。

(説明者) 西部地区に限らず上田市全体に声をかけての大会が今年の秋で6回目となるが、その時に技術向上の講習を開催するようにしている。これからは西部地区だけでなく、多くの方に参加してもらえようようにしていこうと考えている。

(3)西部公民館施設整備について(担当課:生涯学習課、西部公民館)

- ・資料に基づき、西部公民館施設整備について担当課から説明
- ・以下、協議

(委員) 図面に楽屋のスペースが見当たらないが、大ホールのステージ近くに楽屋を設置してもらえるのか。

(担当課) あくまで公民館のスペースなので、本格的な楽屋ではなくカーテンで仕切りを作るくらいになる。

(委員) 調理室はガスを使うようにするのか。火災予防の関係でIHにしてはという意見を出したが、予算の関係で難しいと返答があった。そんなに金額が違うものなのか。

(担当課) IHは予算というよりも維持管理費がかかるという事と、ガスと比べ火力が弱いという事で、研究においても検討していただいた。

(委員) 予算の範囲という言葉がよく出ているが、作った後にこうすればよかったという事がよくある。それを今回の予算でできなくても改善する方向性を見出せるように考えてほしい。

(委員) 工芸棟は必要なのか。工芸クラブの会員は高齢化で解散の危機にあると聞いたが、それなのに必要なのか。

(担当課) 今まででは設備が無かったために、利用したい団体は上野が丘公民館や城南公民館へ行っていた。そのため利用する人はたくさんいると予想される。

(委員) 人がたくさん集まる事で騒音の懸念もある。地域住民の方々へある程度の説明は終わっているのか。

(担当課) 住民説明会は5回行っている。その際に出た意見もこちらに反映させている。

(委員) 相談室が北側で寒くないか。暖かく明るいところの方がいいと思う。

(担当課) 北側にあるが、FF式の暖房機器を入れる予定である。

(担当課) 西部公民館の施設整備について意見書を次回作成し、市へ提出しようと思うがどうか。意見が無ければその方向で進めさせてもらうのでよろしく願いしたい。

(委員) 承知した。

(3)今後の予定

ア 第5回西部地域協議会

(ア)日時 平成27年8月24日(月)午後7時から

(イ)場所 西部公民館1階大ホール(和室)

イ 第6回西部地域協議会

(ア)日時 平成27年9月29日(火)午後7時から

(イ)場所 西部公民館1階大ホール(和室)

4 その他

・特になし

5 閉会